



こんにちは

白子の議会

です

第100号

平成23年5月1日

編集発行

白子町議会

☎0475(33)2169



玉ねぎまつり

第1回定例会

平成23年第1回定例会が3月9日から16日まで開催され、一般質問は4名の議員が町政を質しました。

一般質問	3～6ページ
平成22年度議案・補正予算について質疑応答	7ページ
平成23年度一般会計・特別会計についての質疑応答	9～8ページ
こんなことが決まりました	10ページ

議会広報100号発刊を祝う



議長
大多和秀一

この度、白子町議会広報紙「こんにちは白子の議会です」が、創刊以来百号の発刊を迎えることができました。議会活動を広く町民に、継続的に伝える役割を担い、広報編集委員会を組織し、昭和六十一年の第一号から編集作業を重ね、思いの詰まった各号を皆様にお届けできたことは、感慨深いものがあります。

紙面作りにあたり、多くの方々にご協力を頂きました。事に厚く感謝を申し上げますと共に、編集作業に係わった議員各位のご苦勞に深く敬意を表するところであります。

さて、三月十一日に発生しました、東北地方太平洋沖地震は、私達が経験をしたことのない未曾有の災害となり、深い悲しみと傷跡を残しました。自治体機能が失われてしまった町村もあり、多くの住民が落胆と先の見えない不安の中の生活と

なりました。

こうした状況下で、対応に苦慮しながらも、毅然とした態度で取り組み多くの自治体の職員の姿を見ると、心からエールを贈りたい気持ちになります。と同時に、私達の生活基盤である市町村の役割、在り方がいかに重要であるかを、改めて知らされるところでもありました。

自治体を運営する町政執行部と議会、二元代表制を基本にして、競い合い協力をしながら、住民の為にそれぞれの役目に応じて精練をする事で、住みよい町づくり、確かな地方自治が推進されていくものだと思います。

これからも創意工夫を重ねながら、議会活動の一端を広報紙に載せて、町民の皆様に向けていけるものと思っています。「こんにちは白子の議会です」が広く活用されまことを祈念し、祝辞と致します。



町長
林 和雄

議会活動を町民の皆さんに発信し続けて四半世紀。議会広報紙「白子の議会」が記念すべき百号を数えましたことは大変意義深く、心からお喜び申し上げます。

私も当時、議員として創刊に関わった一人であり、感慨深いものがあります。

今でこそ情報の開示や発信は当然のことでありパソコンを開けば世界中の情報が即座に入手できる時代となっていますが、昭和六十年代は、まだ印刷物の情報が貴重な時代でした。情報開示の世論が高まりつつあったものの、議会の中では広報紙の発行に対し、時期尚早論もありました。しかし、議論の末、「何事も良いことは早い方が」の気質で、発刊にこぎつけることができましたことを記憶しています。

しかし、いざ広報を作るとなると大変な仕事で、

学校新聞さえ作った経験もなく、紙面の割り付けから写真まで、全て手探りでスタート。専門家の指導を受けながら、何とか発刊にこぎつけたことを思い出します。

以来、今日まで日本の社会も白子町も大きく変わりました。バブルがはじけ、経済成長に終止符が打たれ、物の豊かさから心の豊かさ求められる時代になりましたが、依然として合理主義のもと、効率が優先され、心のゆとりが失われていることが憂慮されます。

依存財源に頼る我が町は、平成五年、私が町長に就任以来、緊縮財政を強いられたままですが、地方行政の推進に古くから言われる「議会と執行部は車の両輪」の言葉どおり、議会から常に建設的で前向きな提案・提言は、「笑顔・創意・夢のあるまち」推進の大きな力となり、頼もしい限りです。

広報委員会の皆さんの苦勞に感謝しつつ、議会広報が議会と町民の架け橋として、より一層の充実を願うものです。

一般質問

町政をきく

今回の一般質問は4名が登壇し、平成23年度予算などについて質しました。

行政改革・入札制度について

齋藤鉄也議員

**落札価格の実態
(予定価格に対する落札価格)について公表を**

議員 自治体の財政危機の中で、行政改革が各地の自治体で議論されています。中でも、入札に関する問題は大きな問題です。自治体が、公共事業において、高い買い物をしていけるのではと疑惑は常に存在し、町民から厳しい視線が寄せられています。透明性を期するうえでも情報公開すべきであると思えます。

情報公開は
総務課で閲覧

町長 入札は工事費を積算し、自分の会社はこれ



公共工事

だけの工事費で、できるという工事額をはじきだすが、入札です。工事額をはじきだすのは、会社側の責任であると思います。

いろいろな議論はあるが、同じ仕事をなるべく安い価格で、仕事をやってもえれば一番良いわけがあります。

予定価格に近い価格で

落札される、その辺はやむを得ないのかなと思います。また、どこの会社が、入札、落札、の開示の情報公開は、総務課で閲覧できます。

歩切による情報の漏えいの可能性のシステムは公平、公明の上からも撤廃すべきであると思うが

議員 予定価格に歩切という制度が組み込まれています。歩切を予測して最低落札価格に合わせるの、不可能であり個人の歩切により最低落札価格が左右されます。情報漏えいの可能性もあり町民からも誤解されやすいこの制度は、公平、公明の上からも撤廃すべきであると思われま。一般競争入札の導入についての見解を伺います。

入札制度の研究を続ける

町長 近年、自治体の入札制度の見直し、議論になっていることは、事実です。白子町の場合は、できるだけ地元業者にとの意味合いから指名競争入札を実施しています。歩切についても私の判断度しております。入札制度については、情勢が変化しておりますので、今後も状況を常に把握して入札制度のやり方について研究を続けていきたいと思えます。



内谷川 改修工事

道の駅及び大型直売所について

酒井良信議員

議員 道の駅の可能性は低いと言われましたが、大型直売所についてはどのような構想を考えているのか伺います。

物産館のような簡易的施設からスタート

町長 物産館のような簡易的な施設からスタートさせて、運営状況次第でその施設を充実させたり過剰な投資は不要と考えています。白子らしいものを何とかつくれないかということを検討してきましたが、機運が盛り上がりませんが現実があります。運営母体を行政以外でしなければ、健全な運営が難しく、いろいろ町営の施設等を見た中で実感しております。ぜひ良い知恵を貸していただきたいのが本音であります。

具体的な検討

内容は

議員 検討委員会が設置



道の駅

道の駅から直売所の方向にシフト

総務課長 研修もし、いろいろな形で皆さんの意見を聞きながら、道の駅から直売所の方向にシフト変えをする意見が現状の中で出ています。設置の場所につきましても、ある程度の候補地としての意見も出されています。これから再検討させていただきます。

学童保育について

議員 関、南白亀の父兄から入れないという声が聞こえます。町の現在の学童保育の状況について伺います。

合理的に

町長 現在は長生農協の旧白濁支所において行っております。なのはなキッズクラブ、保護者が主体で運営をしております。通年の利用者は二十九名、白濁二十名、関四名、南白亀五名であります。

利便性のアップを図り、南白亀、関は帰り時間に登録者については送迎しておりますので、一カ所で合理的に運営しているつもりであります。三カ所つくりたい、つくってほしいという要望もあります。利用者がそれほど多くなくて、一カ所にとどめたほうが合理的だと思えます。調査をしたときには利用者は何人もいないのですが実際に運営してみますと三分の一、四分の一の人数しか利用しないということになります。現実が異なりますので、現在のところ、白濁一カ所に対応して

るやり方で、ご理解をいただきたいと思います。



学童保育

中学校の制服について

議員 制服の価格が父兄の間から高いという声があります。対策をどのように考えているのか伺います。

自己負担軽減

町長 制服が、高いという声もあるようですが、経緯といたしましては、平成十一年度に生徒、保護者のアンケートをもとに先生方の意見も聞きながら、詰め襟から現在のブレザーの制服に変わ

ました。当時は詰め襟の服にいろいろ違反が出たり、女子のジャンパースカートは着たり脱いだりしにくいということがありました。男子が三万二千五百円、女子が三万二千円です。他町村の制服と比較してもあまり変わりません。決して安い額ではありませんが、三年間着るといって、それなりに丈夫さも備えたものであると判断します。負担軽減というのは考えておりますが、理解いただきたいと思えます。議員 制服については、PTA、業者、先生で決める問題であります。良いものを安く提供できるように要望いたします。



白子中学校の制服

九十九里地域医療センター

財政負担要請への考えは

市川隆子議員

議員 九十九里地域医療センターが担う三次救急医療に対する財政支援のお願いの文書には、赤字額の半分は、周辺市町村の利用率に基づいて負担を、となつていますが同じ医療圏の夷隅郡市は除かれていません。町の負担に対する見解を伺います。

率直な疑問

町長 医療センターに併設される救急救命センターへの負担のお願いがありました。医療センター計画が推進途上であり、要請が妥当なのか率直な疑問を持っています。今後は七市町村で十分に意見交換をして、統一した対応を決めていきたいと思つています。

手続きの簡略化を

議員 後期高齢者医療制度の高額医療・高額介護

治体もあります。国からも実態調査の要請がきていると思えますが、どのように対応するのか伺います。



早い時期に実施

町長 第五期介護保険事業計画への地域の状況を反映させることが必要です。ですので、これから実態調査を実施していきたいと思つています。国が示した項目と町独自の項目により、なるべく早い時期に実施します。

介護者への支援策を

議員 厳しい状況に置かれていられるとされる在宅介護の家族に対して、支援策を講ずることを考えなければならぬと思つていますが、見解を伺います。

地域包括支援センターと連携し改善

町長 家庭の状況に応じたケアプランを提供できる事業者の育成を図らなければならぬので、地域包括支援センターと連携し、事業者への指導、助言、介護者への相談や情報提供をし、疲れきつてしまわないよう改善していきたいと思つています。



完成した特養施設「はなゆう」

高齢者世帯救急医療情報キットの配布を

議員 高齢者世帯の方が急病などで救急車を要請しても、的確に救急隊員に状態を伝えられないことがあると思つています。そこで救急医療情報キットに必要なものを入れ、保管しておくことで、救急隊員が状況を的確に知ることができ、町でも配布をすべきと思つていますが、考えを伺います。

町長 昨年六月に南日当の方から百台寄付していただき、独居世帯に優先的に配布してきましたが、あと百台購入して配布を継続していきたいと考えています。また、担当課長会議等でも話題として提供しながら、可能な限り増やしていければと思つています。

配布を継続する

町長 昨年六月に南日当の方から百台寄付していただき、独居世帯に優先的に配布してきましたが、あと百台購入して配布を継続していきたいと考えています。また、担当課長会議等でも話題として提供しながら、可能な限り増やしていければと思つています。

家族介護の実態調査を

議員 十二月議会でも家族介護の実態調査を、と質問しました。長生郡市内では、調査を始めた自

広域連合に要望

町長 後期高齢者医療の申請書のコピーを用いて簡略化を実施しています。状況によっては、委任状や申し立て書が必要となる場合もあり、申請の簡素化を広域連合に要望したいと思つています。

直売所建設計画は

板倉正道議員

議員 直売所建設については、六、七年前から議論、検討が成されております。

平成二十年には検討調査まで予算化されましたが、十分な検討がなされないまま、今日に至っております。

町はどの様な企画立案をしているのか、具体的な構想を伺います。

交通量の調査も

検討課題の一つ

町長 近隣の道の駅の隣接県道の交通量の調査もしております。陸沢のつどいの郷、山武のおらい蓮沼等にくらべると交通量の少ないことや、白子インター付近の交通量の少ないのも検討課題の一つだと考えます。

特色ある直売所を

議員 白子町は郡内での

いと思えます。

道路行政について 関係箇所周辺の 整備計画は

議員 関係箇所の隣に地区ふれあいセンターが建設されました。

保育所の送迎とふれあいセンターの利用者に加え農繁期には作業車の駐車等で大変混雑します。

保育所の送迎は一方通行の自主規制をしておりますが、進入路が狭いことから近隣の住民や保護者からの苦情や改善策を耳にします。どの様な改善計画があるのか伺います。

丁寧に調査、検討

町長 町道二一六〇号線は関係箇所の北側の道路です。保育所の隣にはふれあいセンターもありまして、利用者も増えております。現地の状況を丁寧に調査し早急に検討を致します。

町道一〇八号線の 整備計画は

議員 町道一〇八号線は中富の三差路まきの木亭から北高根交差点までの通りです。延長線の長生村は歩道付きの道路整備も完了しました。

一級町道でもありませんので歩道を含めた改修が必要だと思いますが、改修計画があるのか伺います。

通行量を調査し検討

町長 北高根交差点から県道正気線迄は延長一、七三キロメートルですが歩道の未設置道路であります。通行量等を勘案し外の一級町道との優先順位を考慮し検討致します。

町内全域の 白線整備は

議員 白子町内における道路の白線標示、丁字マーク、十字マーク、セン

ターライン、ドット線等大部劣化、消耗が目立ちます。事故解消の為に早急な整備が必要と思えますが、改修計画があるのか伺います。

危険箇所から順次

町長 交通量とか路面の状況による劣化、消耗が目立ちますので引き直しは必要です。

交通量が多くて傷んだという判断も出来そうです危険箇所から順次整備をしていきます。



北高根交差点

平成22年度議案・補正 予算について質疑応答

議案第四号

【今関勝巳議員】

町有地の利用

議員 中里住宅跡地ですが、他にも町有財産が進めるのか伺います。
町長 町有地は、まだまだあります、お願いした条例で成果をみきわめ次の展開を図っていきます。

【市川隆子議員】

国の補助制度

議員 町内在住で引き続き定住を希望する人も該当するののか。
また、家を建てる場合町は、国の補助制度を活用するのかわかります。
町長 町内在住者もよそへ行かないように、ということで考えています。補助は、国の制度を可能であれば使いたいと考えています。

【板倉正道議員】

若者マイホーム

議員 選考基準は四十歳以下の夫婦で子供を有する者と記されているが、結婚間もない夫婦、又、子供のいない夫婦は対象

にならないか伺います。
町長 人口と子供を増やす施策ですので子供のいない入居者は対象外と致します。

審査委員の選考は

議員 審査委員の選考はどの様な基準で行うのか、又、人数は何名か伺います。
町長 審査委員の選考については公平、公正を原則と致します。委員定数は十名程度と考えています。

【鈴木正美議員】

きめ細かい進め方を

議員 マイホーム取得奨励用地について不動産、土地建物の扱いは簡単ではないが、専門的な町の職員を配備する必要があり、と伺います。条例化した中できめ細かく進めていくであろう、その考えを伺います。
町長 町としては初めてであり、条例を制定していただいたからには責任を持って期待に添える様、専門的な立場からのアドバイスを頂き極力トラブル等の起こらないように臨んでいきます。

議案第七号

【市川隆子議員】

交付金の使途

議員 光をそそぐ交付金は使途が三つに決められていると思いますが、公民館バスの買い換えになった経過を伺います。
総務課長 光をそそぐ交付金は、地方消費者行政、DV対策、自殺対策等、光がそそがないところに充てるべきですが、精査した結果、図書購入費、公民館バスにも充てられるという結論が出ました。

【三橋昌好議員】

耐震対策

議員 中学校管理費について、耐震対策経費に一億円と膨大な予算組みとなっているが、その内訳を伺います。
町長 管理棟もかなり古くなっており、全般的な塗装、廊下、教室内の床などの補修に補助金を利用しようという考えです。今、国では耐震対策にウエイトを置いて補助金を出しているのでも有利だと思います。十五年ぐらいは維持できると思っております。

議案第八号

【鈴木正美議員】

減額補正の理由

議員 国民健康保険税について歳入が減額補正になった理由について伺う。
税務課長 当初、積算見込をした収入額より世帯数で三%、全体で所得割の金額の十%の額があったため今回、歳入減の補正を提案させていただきました。

議案第十一号

【市川隆子議員】

介護保険補正

議員 地域密着型介護・介護予防サービス給付事業ですが、グループホームが大幅減額になっていきます。利用状況は、保健福祉課長 一月末現在十七名の方が利用しています。町内に十八床のグループホームを建設していますので、当初予算で二十七から三十名くらいを予定していましたが、伸びなかったため減額補正をいたしました。



平成23年度一般会計・特別会計についての質疑応答

【宗島慶明議員】

災害対策

議員 東北地方太平洋沖地震が起き、大津波警報が発生し白子町も広報無線で避難を呼び掛けたがあ、の広報無線で避難を決定したのかどうか非常に疑問だと思います。次に避難所の対応ですが、誰が責任者で、命令系統はどうなっているか、自治会に対する伝達、自治会長の役割等を伺います？



防災無線

町長 住民の皆様には不安を与えたのは確かだと思えます。広報無線の効果はと言うことですが、やはり緊急の時はチャイムではなく、サイレンに致します。又自主防災組織の訓練等も消防団だけでなく、地域の人も一緒に加わっていただければ

思っております。

【河野豊議員】

中学校整備

議員 テニスコートを五十%の補助金を頂いて新設するのは宜しいですが、中学校の耐震事業も終わりがつありますが、今後の改築をふくめた考えを伺います。

又サッカー場用地購入費ですが、現在までに面積全体のどの位購入したか伺います。

町長 建て替えを検討した結果、費用的に相当掛かりますので耐震補強の



テニスコート

措置で行いたいと思えます。校舎棟は耐震補強は終わっておりますので、今年度は管理棟の耐震化を行いたいと思っております。

サッカー場は現在までに全体の半分ほどを購入しております。順次買取りを進めたいと思っております。

【大多和正之議員】

防災無線デジタル化

議員 防災無線デジタル化にしてメリットがあるか伺います。又各避難所等に防災無線等が設置されて無いので、避難所等に設置しても良いのではないかと、災害等の時は携帯電話がつながりにくいので、無線等の設備を整えてみては良いのではないかと？

町長 デジタル化で色々な面の機能が上がりますし、現在の無線は老朽化しているの、県が予算の半分を出して奨励しているデジタル化と防災無線の整備を行いたいと思

【市川隆子議員】

住基カード発行

議員 住基カードを六十五歳以上の方に無料で発行するということですが、進め方と、来年度以降も継続するのか伺います。

住民課長 手続きは、本人を証明できる書類二点以上と写真を持参して本人が申請すると発行されます。

町長 来年度以降も継続していくべき事業だと思います。



【北田頼光議員】

白子バイパスの重要性

議員 二十三年度施設方針の中で、茂原、白子バイパスを重要課題として宣言している。その夢の想いを伺います。

町長 白子は昔から国道も鉄道もない町で外房有

料の延伸を以前から強く要望している訳ですが、いろいろな形で経済効果の重要性が期待の持てる道路だと思っておりますので、今後とも重点事項として進めていきます。

マイホームの制度利用

議員 国の制度を利用し、マイホームを取得する若者夫婦に補助金を交付し応援とあるが、どの様な対策か。

町長 期間は二十三年から二十五年度の三年間で、先日議決した条例とは別に奨励策として行います。新築で基本的に二十万円、転入者または白子在住でプラス十万円、町内業者依頼で十万円、などトータルで五十万円とし、町内の住民増加を計る優遇策です。

社会地域の構築

議員 福祉政策から、障害のある人も、ない人も共に暮らせる社会地域の構築のため、弱者が分け隔てなく、普通に共存で

きる社会の推進とあるが、どの様な方向性が伺えます。

保健福祉課長 平成二十一年から二十三年度の三年間で、国の重点施策として、国、県から約二百六十五万円の補助金が出ています。悩み事相談解消の啓発ということで町内全域に資料の配布、今年度は講演会を予定し、細部は検討してまいります。

【三橋吉辰議員】

橋梁長寿命化

議員 橋梁新設改良委託は何カ所あるか伺います。



旭橋

町長 橋梁長寿命化修繕計画の検査委託箇所は九十三カ所です。町道に架かるほとんど調査して橋梁の長寿命化を図る為の目的で、場合によっては架け替えしなければならぬと思います。

防災

議員 防災対策費三百七十万円。この予算で十分なのか伺います。

町長 防災予算につきましては「災害対策事業・時間外勤務手当・災害時活動報償・旅費・災害時医療用医薬品購入・消耗品燃料費」災害前の予算編成をしたもので、今後については、発電機等、購入しなければならぬと思っております。必要なものの購入は、予算化させていたただきたいと思っております。

【齋藤鉄也議員】

コミプラの接続率

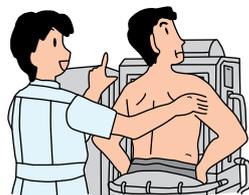
議員 コミプラの接続率は何%か。また年間の収支について伺う。

環境課長 現在の接続率は七十四%です。また収支については、二十一年度決算額二千八百万円の赤字の状況です。

【今関勝巳議員】

人間ドック助成

議員 人間ドック助成事業ですが、何名ぐらい受診しているか、また年齢層について伺います。



住民課長 平成二十一年度は九十五名で、約四十%強が六十代の方です。

議員 自己負担が増えてきていますが、助成金を値上げするか伺います。

住民課長 状況を見て検討する場合もあるかと思いますが、現在の状況で進めていきます。



町議会を傍聴しましょう。

次の定例会は6月の予定です。

詳しいことは、議会事務局へ。TEL33-2169/FAX33-4132
白子の議会についてご意見、ご感想をお寄せ下さい。

こんなことが、決まりました。 定例会 第1回 議案の内容

発議案

議員発議により議会議員定数等に関する調査特別委員会を設置しました。

議会議員定数等 検討特別委員会

委員構成は次のとおりです。

- 委員長 宗島 慶明
- 副委員長 鈴木 正美
- 委員 齋藤 鉄也
- 委員 北田 頼光
- 委員 大多和 正之
- 委員 板倉 正道
- 委員 齊藤 豊彦



永年在職議員表彰

平成二十三年第一回定例会において、永年在職議員に対し表彰状の伝達が行われました。
この表彰は、全国町村議会議長会より永年に亘



り地域振興と地方自治の進展に尽くされた功績により表彰されるものです。本町から四名の議員が表彰されました。心からお祝い申し上げます。

自治功労者

(議員在職二十年以上)

今井 信 夫 議員

自治功労者

(議員在職十五年以上)

齋藤 鉄 也 議員

河野 豊 議員

大多和 秀 一 議員

東北地方太平洋沖地震で被災された皆様に心からお見舞い申し上げます。去る三月十一日に東北地方太平洋沖地震が、発生し、東北・関東地方に大変な被害を受けました。白子町議会として、議員各位から見舞金を募り災害見舞金を届けました。被災地の復興が早期にされることを願い、被災された皆様に心からお見舞い申し上げます。

編集後記

東北地方太平洋沖地震の被害において死者、行方不明者合わせて約二万八千人、そして避難者は十三万八千人に上る被害状況です。お見舞いとお悔やみを申し上げると共に一日も早い復旧復興を願っています。

議会だよりも、今回で数を重ねて第百号の発行となります。一言で百号といっても四半世紀が経過をしていますが、議会だよりも、町民の皆様にご活動をご知らせる唯一の方法と先輩議員達が考えたのではないのでしょうか。現在、広報委員八名で、活動しています。

今回で、百号となり紙面をカラーにしました。これからも、議会の生の声をお知らせし愛読していただける議会だよりも目指し努力してまいりますので、是非ご意見アドバイスをお寄せください。ますますよう宜しくお願い致します。

今関 勝巳